

第 3 回
市立病院評価委員会

令和 6 年 5 月 7 日

箕 面 市 議 会

目 次

●市立病院評価委員会（令和6年5月7日）

協議事項1	評価スキーム策定用アンケート	評－ 2
協議事項2	今後のスケジュール	評－17
協議事項3	その他	評－18

● 日 時 令和 6 年 5 月 7 日（火曜日）
午後 1 時 0 分開会
午後 2 時 21 分閉会

● 場 所 箕面市議会委員会室

● 出席した委員

委 員 長	中 嶋 三四郎 君
委 員	名 手 宏 樹 君
〃	中 西 智 子 君
〃	中 井 博 幸 君

副委員長	山 根 ひとみ 君
委 員	大 脇 典 子 君
〃	田 中 真由美 君

● 欠席した委員
な し

● 審査した事件

協議事項 1	評価スキーム策定用アンケート
協議事項 2	今後のスケジュール
協議事項 3	その他

午後1時0分 開会

●中嶋委員長 皆さん、こんにちは。定刻、お集まりをいただきましてありがとうございます。

ただいまから市立病院評価委員会を開催させていただきます。

冒頭、出席状況のご報告をさせていただきます。

本日は全員出席でございますので、委員会のほうは成立いたしております。

なお、本日の資料につきましては、2つ事前にサイボウズのほうで共有をさせていただいております。委員の皆さんには前のモニターにも同様のものを映させていただきます。傍聴の方はちょっとモニターが見えないかもしれないので、各自でご確認をよろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、協議事項のほうに入らせていただきたいと思います。

本日は、3点、協議事項のほうでございますので、順次進めさせていただきます。

協議事項1 評価スキーム策定用アンケート

●中嶋委員長 まず、協議事項1つ目の評価スキーム策定用アンケートについてを議題とさせていただきます。

まず、改めて評価スキーム策定の流れ、前回少しご説明をさせていただいたものを事務局のほうで資料化していただいたので、ここはじゃあちょっと説明をしてもらおうかな。事務局、説明できますか。

●議会事務局 評価スキームの策定の流れでございます。

まず、3段階に分けさせていただきまして、ステップ1、ステップ2、ステップ3という形でさせていただきます。まず、ステップ1としまして、アンケートの実施、本日案件とさせていただきます評価スキーム策定用のアンケート、この案をご提示させていただきたいと思ひまして、意見をいただきたいと思います。その後、調査研究するための有識者との意見交換会、ステップ3としまして、評価スキームの策定という形で進めていくという形で、大ざっぱな流れでございますが、

スキーム策定までの流れという形でさせていただきたいと思っております。以上でございます。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

前回ご説明させていただいたものの報告程度だというふうに思っていただけだと思いますが、現状、アンケートをするというところまでしか詳細は決まっておりますので、ステップ2以降につきましては、順次、この委員会のほうで皆さんと議論、決定をいただきながら進めていくことになると思いますというご確認をまず1点させていただきます。

続きまして、議題のほうのアンケートに入りますが、アンケートの中身の前に、まずアンケートの手法についてご説明をさせていただきたいと思ひます。

今回、アンケートの手法につきましては、L o G o フォームによるデジタルタイプのアンケートと紙のアンケートの併用でいかせていただきたいと思いますというふうに思っております。

資料にありますように、L o G o フォームのほうは、現在、調査部会のほうで実施をしていますアンケートと同様に、箕面くらしナビ経由で発信をするもの、それから市議会のホームページで発信をするもの、それから、紙にも一応L o G o フォームに飛ぶQRコードをつけておりますので、その他QRコードから飛んでいただくものということで、周知をさせていただくものが1点でございます。

それから、紙のほうですが、調査部会のほうは、ご要望がご意見としてありましたので、紙のものを各議員の皆さんにもお配りをさせていただいて、各議員さん経由で紙の回答を集めていただける分は集めてくださいということをお願いをさせていただきましたが、今回はちょっとそれとはやり方を少し分けましたというのは、そもそも紙をやらなくてもいいんじゃないかという意見もあったんですけども、というのは、今行っている調査部会のアンケートが、今、大体450件ほどご回答をいただいています。そのうち高齢の方が答えられないんじゃないかというご意見が以前もあったんですが、現状、お答えいただいている方の年齢構成を確認しますと、70歳以上の方の割合が大体2割ぐらいというふうに来ていま

すので、ご高齢の方がL o G o フォームだと答えれないということは、現状そんなになんないということが一定出ているんですけども、ただ、今回の場合は、属性バランスを比較的取らないといけないアンケートだなというふうに思いましたので、まだその1回の結果だけを見てやるには時期尚早かなということで、紙は併用してやろうと。ただし、そのターゲットの年齢に限定をした紙のアンケートにしたいなということで、今のところ70歳以上の市民の方、これは60代までは一定スマホを使えるんじゃないかということ想定していますが、70歳以上の方を無作為で抽出をして、郵送によってアンケートにお答えしていただいて返送いただくという市がやっている満足度調査的なものと同様の手法を想定しています。ですので、市のほうと、今、少しそういうことができるのかの調整を事務局のほうでしていただきましたので、その結果も後ほど少し説明していただきたいと思いますが、市のほうで無作為に70歳以上の市民の方を一定数抽出していただきまして、その方たちに郵送でアンケートを送らせていただいて、そのアンケートを返送していただくというものを想定しております。

以上の2つのやり方を併せた形でアンケート調査を実施するというのがご提案している手法になります。

少し市のほうとのやり取りを事務局のほうで補足いただけたらありがたいです。

●議会事務局 まず、今、委員長から説明がありました紙による無作為抽出の手法でございます。こちらにつきましては、個人情報保護法の例外規定に該当するかどうかという形になるんですけども、こちらのほうは一応該当するというので、抽出し、データをいただくことは可能だということで、市長部局との話はさせていただいております。ただ、今回、紙ですということをご決定いただいた後、申請及び返信用封筒の印刷だとか、各種資料の印刷とかをさせていただきますので、今日決定したことによってすぐできるというわけではないんですが、ある一定期間、頂戴いたしまして、抽出作業をさせていた

だくということになります。以上でございます。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

ということで、ざっとですが、すみません、アンケートのまず手法に関しての内容をご説明させていただきましたので、何かご質問等があれば。今日は、手法については、この場で意見集約をさせていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

それでは、ご自由にご発言いただけたらと思いますが。

どうぞ。

●山根委員 もちろんアンケートは無記名ということですね。

●中嶋委員長 はい。

●山根委員 それで、気になるところが、紙のアンケートのことなんですけれども、封筒ないしは往復はがき、何かでご自宅に届いて、それで返信をしていただくという形になりますよね。それで、たまに私が経験あるんですけども、無記名ですけども、封筒に何か番号が打ってあって、それで返信用の何かにも番号が打ってあって、これ、山根ひとみが返信したって分かるんじゃないかっていうようなものもあったんですね。通し番号みたいなのが打ってあったりするんですけども、本当に全く何も記名せずに無作為に選んでという状態で送られるということには守られるという認識でよろしいでしょうか。

●議会事務局 すみません。今、山根委員おっしゃっていただきましたように、特に番号をつけるという形では考えてはございません。アンケートをどれぐらい送るかというものにもよりますけども、あくまで想定範囲ですけども、200から多くても300ぐらいかなと、送るのはそれぐらいかなというふうに考えております。もちろん送る件数等々もご議論いただいたらいいと思うんですけども、それぐらいであれば、特に通し番号とかつける必要もなく、送ればいいかなと思っておりますし、もともとちょっと、すみません、通し番号のことは頭になかったというのがございますので。以上でございます。

●中嶋委員長 よろしいですか。

ほかは。

中西委員、どうぞ。

●中西委員 すみません。確認なんですけれども、例えば障害者市民への配慮みたいなものについては、何かご検討されているものがあったら教えていただけますでしょうか。

●中嶋委員長 今のところは基本的にはあらかじめ属性を選んで対象にするということは想定しておりませんので、アンケートが回収された結果、特段そういう意見の聴取が必要ではないかということがあれば、次のステップも含めてその辺は補っていただいたらいいのかなというのは前回もご説明したとおりです。

●中西委員 すみません。例えば視覚障害のある方なんかに対して、どういうふうに対応されようと考えているのか、もしお考えがあれば教えていただけますか。

●中嶋委員長 逆にどういうふうに対応したらいいのかがあれば教えていただきたいです。

●中西委員 考え方としては、点訳というものが一つあるかと思うんですね。

●中嶋委員長 L o G o フォームを答えていただくのということですか。

●中西委員 L o G o フォームなのか、70歳以上の方でペーパーでは答えにくい方がいらっしゃった場合に、点訳もあるよってというような対応をされるのかどうか。

●中嶋委員長 L o G o フォームのほうは、基本どなたでもお答えいただくことはできますので、もしアンケートを実施してから、もしくは直前でも構いませんけれども、そういう方が答えたいというご意思があるようであれば、それはまた相談させていただきたいというふうに思いますが、今のところ必ずこういう対応をするということは想定を必ずしもし切れていませんので、その辺はまたご相談しながらということかなとは思っています。

●中西委員 であるならば、そういう特段の配慮が必要な場合は遠慮なく申請してほしいということをちゃんと分かるように伝えていただけたらな

というふうに思っています。

●中嶋委員長 伝えていっていただくのは委員の皆さんですので、ぜひその辺は、L o G o フォームには一応趣旨とか情報の取扱い等々を当然、紙もそうですが、お答えいただく方には説明資料としてつけさせていただきますので、その辺は発信していく段階でも十分注意はしたいなと思います。

どうぞ。

●中井委員 私、今朝、市立病院へ行ってきました。診察です。行ったときに、受付であるとか、待合であるとか、いろんなところを見て、果たしてこれ2つ、どっちを皆利用するやろか。平均年齢からいったら、僕、まだ若いほうやと思いますわ。その人らが病院の今ある姿、今後どのように病院なってほしいというのを評価するのをL o G o フォームでせえって、ちょっと僕は無理があるん違うかなと。一遍、皆さんも、当然行ってはるでしょうけども、病院行って、周り一遍見渡してください。紙のほうに注力したほうが本当に利用している方々の評価というのが僕は得られると思いますので、できることならそのようをお願いをしたいと思います。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

今、まず、病院に紙で答えられるような設置をするというご提案という理解でいいんですかね。

●中井委員 そうですね。もしも可能なら、向こうにそのアンケート台でも置いて、そこでアンケートに答えてくださいというのも、利用者の意見を聞くのならそれも一つの方法かなと思いますね。

●中嶋委員長 今のところはそこまでは想定していませんでしたので、ちょっと今日すぐさまやるやらないは判断できないと思うので、一旦、病院との調整、確認が必要かと思いますので、今日はお預かりさせていただいてもよろしいですかね。

●中井委員 はい。

●中嶋委員長 一応アンケートとしては、病院に行かれたことがある方もない方も全て対象にさせていただいておりまして、行ったことがある方は行った中での話を、行ったことない方は行ったことない、自分が聞き及んだことも含めてお話を聞かせていた

だくというのがアンケートの流れの趣旨になっておりますので、ただ、どういうふうに関心がある方、いろいろな年齢構成の方、いろいろなご意見を集めるかということは大事なことでと思いますので、ちょっとその部分は一旦今日はお預かりをさせていただきたいと思います。

ほか、どうでしょうか。

どうぞ。

●大脇委員 この紙のほうの下に括弧でQRコードがついてあるんですけど、これは紙をもらった方が何か違う形でも出していいということなんですか。

●中嶋委員長 そうです。必ずしも紙で答えていただかなくても、もしスマホでできるよという方がいたらしゃれば、スマホのほうからお答えいただいても大丈夫です。後でその内訳は分かるようになりますので。

●大脇委員 はい。ありがとうございます。

●中嶋委員長 どのQRコードからお答えいただいたかによって、郵送された方なのか、一般からお答えいただいた方なのかは分かりますので、届いたものをどちらで答えていただくかはその方を選んでいただけたらいいと思います。

●大脇委員 70歳以上の方って、紙で答えようと思っても、結構な枚数があるので、ずっと見ながらっていったら、やっぱりスマホでされる方とかだったら結構、長くしなければならなかったら途中でもう嫌になったりとかっていうのもあると思うので、紙ベースで70歳以上の市民の方に無作為に送られるのはいいと思いますけれども。以上です。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

後ほどこっと中身の話はさせていただくんですが、ぱっと見、すごい質問が多いように見えると思うんですが、実はそうでもないの、その点は後ほどご説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。

ほか、どうでしょうか。

名手委員、どうぞ。

●名手委員 先ほど説明で、今やっている調査部会の議員報酬と定数ですかね、あれの関係の調査では、

70代が約2割ぐらいがスマホ、L o G oフォームで答えられていると。ほかの世代はどんな感じですか。70代がやっぱり少ないのか。2割というのが多いのか少ないのかちょっと分からなかったの、理解できなかったの、どれくらいというのがもし、ばくっとでいいですけど。

●中嶋委員長 今ちょっと分かりますか。分かる範囲で。

●議会事務局 先週、すみません、5月1日ほどの情報になって、最近ちょっと変わっているかもしれませんが、見た段階では10代以外はほぼほぼ2割ぐらいを占めているという、2割前後ですね。すみません。2割といたら全部、100%を超えてしまいますので。大体バランスよく現在のところお答えいただいているような感じになっております。

●中嶋委員長 どこかの年齢構成だけが特段低かったり高かったりはしないと、10代以外は。

●議会事務局 そうですね。

●名手委員 そしたら、バランスよく出ているということですのでいいのかなと思いますけれども、あと、紙でやる抽出の70という年齢で区切ってということになるんですけども、どれくらいの数を抽出するのか、その辺はまだ予想というか。

●中嶋委員長 大体の想定ですが、サンプルとしては70歳以上の紙で回収するサンプルが100から200ぐらいの想定、全体が1,000ぐらいというイメージです。100から200ぐらいの想定をしています。その場合、満足度調査の郵送の回収率が大体50%ぐらいだというふうに聞いておりますので、仮にマックス値で200ぐらいのサンプルを取ろうと思ったら、その倍の方に発送する必要があるということです。発送数はもう少し増えると思います。なので、結果は200以上来る可能性もありますし、200来ない可能性もあるということにはなろうかと思いますが、それぐらいの想定をしております。

●名手委員 それとあと、無作為抽出でアンケートするのは高齢者ということで限ってということですけど、若い人ももちろん紙媒体での回答もオーケーだと。当然ですよ。そこはそうですね。

●中嶋委員長 どういう意味ですか。

●名手委員 紙媒体というのは、年齢区切らなくって、ほかの人もできますよねという話です。

●中嶋委員長 何度もこの議論しますけども、このアンケートをやるのは我々なんですよ。本来は結果も含めて全部我々のほうで、集計も含め、分析も含めするというのが前提ですので、そこは手間と効果のバランスをやっぱり見ないといけないということです。何でもかんでもマックスで全部やるということは基本的には想定していません。その前提で、先ほど中井委員からもご意見いただいたように、ここにはやっぱり配慮が要るんじゃないかとか、中西委員が言われたように、ここには配慮が要るんじゃないかということにはできるだけ可能な範囲で応えていきたいなというふうには思っておりますが、皆さんもその前提でお考えいただけたらありがたいなと思っていますので、基本的にはアンケートはL o G o フォームが基本です。過去のご意見の中にもご高齢の方が紙じゃないと答えられないんじゃないかと。それは一定そうだろうと。ただ、一方で、今の調査部会のアンケートは2割ぐらいは回答はあるものの、まだその1回だけをもってそれが可能だというふうに判断するのはまだ時期尚早だろうということで、その年代の方には紙のアンケートを併用しようということですので、それ以外の年代の方は基本、L o G o フォームのほうで答えをいただくということをお願いしたいと思いますし、皆さんのほうからもそういうふうに発信をいただけたらありがたいなと思っています。

ほか、どうでしょうか。よろしいでしょうか、手法の話につきまして。

(「なし」と呼ぶ者あり)

●中嶋委員長 じゃあ、ごめんなさい、本当は今日ちょっと最終の集約をするつもりだったんですが、先ほどの中西委員と中井委員からのご意見もありましたので、一応最後にもう一回諮りますが、5月の末に、後半にもう一度、意見集約のための評価委員会をさせていただこうと思っておりますので、手法のほうも一応そのときに再集約をさせていただくと

いうことにさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

●中嶋委員長 では、手法のほうはそういう前提で進めさせていただきます。

それでは、次に、実際のアンケートの中身につきまして、ご説明させていただきたいと思います。

じゃあ、事務局のほうからまず説明をお願いします。

ちなみに、このたたき台は、正副座長と事務局のほうで事前に少し相談をさせていただきまして、今日、お諮りをさせていただいておりますので、その前提で見ていただけたらと思います。

では、お願いします。

●議会事務局 まず、レジュメのほうを見ていただきたいと思います。このアンケート自体は、評価委員会が評価するに当たってのどういうことを聞いていくか、評価するかということに対するアンケートの内容になりますので、項目としまして、今、6つ掲載しておりまして、一つは属性、外来、入院、サービス、設備・環境、その他という形で分けさせていただいております。

すみません。別紙1のほうをご覧ください。

●中嶋委員長 ちょっと前のモニターがちっちゃいので、皆さんそれぞれお手元で見ていただくほうがいいかもしれません。

●議会事務局 まず、アンケートの1つ目としまして、属性ということで、性別であったり年齢、何十代とか、あと箕面市内に居住か居住ではないか、あと市立病院へ行ったことあるか、あると選択していただいた方については、これまでの通院日数、どれぐらい通ったことがあるかというのをお答えいただくような形になります。ないという方については、次の項目に進むという形になります。

続きまして、5番目としまして、入院、これは市立病院以外にも入院したことがあるか。といいますのが、アンケートをしていく際に、比較する対象としまして、特に入院なんかはほかのところで入院したのと市立病院で入院したということがあれば、ど

ういうとこに視点が行くかということは分かれると思いますので、こういう形で市立病院以外という形もさせていただいた次第でございます。

続きまして、外来の分になります。外来は、どういったところに皆さん、このアンケート答えていただいている方について、関心があるかということで、関心の高いものを3つ選んでいただこうということで、大きな1、2、3という形にさせていただいております。最も関心の高いもの、2番目に高いもの、3番目に高いもの。①から⑤の中から選んでくださいという形になっておりますので、それぞれ大きな1、2、3とも下記にある①から⑤については共通するものでございます。

今、紙でちょっと簡単に書くときにはこういう形にさせていただいておりますけども、L o G o フォームのイメージとしましては、まず、大きな質問の1、①から⑤の中から最も関心の高い項目を選択してくださいということで、その下に①、②、③、⑤までが続くようなイメージを持ってください。①に関しては医師に関すること、②に関しては看護師に関すること、③についてはその他のスタッフということで、事務員や薬剤師、リハビリのスタッフなど、そして、④としましては感染症対策、⑤としましてはプライバシーや個人情報への配慮という5つの選択になります。ここで最も関心の高い項目にもし①の医師に関することを選んだとしましたら、その後、L o G o フォームとしましては、(1)から(9)が現れてくるというようなイメージになります。紙で書くと一遍に書きますのでこういうたくさんの形になりますけども、アンケートとしましては、大きな項目で①から⑤の選択があります。もし①や②、③を選びますと、次の形で(1)から(9)なり(8)なりという形でまた選択肢が現れてくると、④や⑤を選ぶと、もうその設問は終わりということで、次の大きな項目の2番目としまして、2番目に関心の高い項目を選んでくださいということで、また①から⑤が出てくるというようなイメージを持っていたら結構かと思います。

すみません。説明が途中になってしまつて申し訳

ないんですけども、①医師に関することに関しましては、また小項目の設問としまして(1)から(9)、説明の分かりやすさ、質問や相談のしやすさ、医師のキャリアであったり、診療行為全般、身だしなみ、言葉遣いや態度、他の医療スタッフや医療機関との連携、診察時間の長さ、あとその他ということで自由記述という形を選択していただく形になります。これは、一番下の小項目については複数回答可という形でさせていただきたいと思っております。そうすると、最も関心の高いところの①から⑤の中でどこが高いのか、また、医師や看護師やその他のスタッフに関しては、その中からこういったところが関心が高いのかというところが分かるというような形で考えておりますので、委員長、副委員長と相談した上で、こういった案にさせていただいております。

続きまして、入院の……。

●中嶋委員長 ごめん。ちょっと一回そこで。

見方、分かりましたかな。あとも全部同じなので、見方の理解ができていなかただけちょっと共通認識にしておきたいんですが、さっきの外来のところを映してもらって、このA4の紙、これが一つの質問です。ご理解いただいておりますか。これが一つの質問で、一つの質問に対して多くても答えるのは2回です。この紙を3枚やりますという今説明です。第1優先のもの、第2優先のもの、第3優先のものというのを、1回ないし2回答える質問が3問あるんだというふうに見ただけたらと思いますが、大丈夫でしょうか。

じゃあ、ごめんなさい。続きを説明させていただきます。

●議会事務局 ありがとうございます。

そうしましたら、次、入院のほうに移らせていただきます。

入院も先ほどと同様となります。1から3としまして、最も関心の高いもの、2番目、3番目と続いています。質問項目は、ちょっといろいろと入院に関して考えてみまして、1から10という形で選択肢は多い形になりますが、先ほどと同じように、1か

ら3、医師に関すること、看護師に関すること、その他スタッフに関すること、すみません、あと4もありました。病室に関することを選択していただくと、また小項目の(1)とかいう形が出てきまして、複数回答可という形になります。

選択肢の説明をさせていただきますと、1から3につきましては、先ほどの外来と同じように、医師、看護師、その他のスタッフ、4番目に病室に関すること、5番目、感染症対策、6番目、プライバシーや個人情報への配慮、7番目、入院中の食事、8番目、面会のしやすさ、9番、行事やレクリエーション、10番としまして退院後のケア。8番目の面会のしやすさというのは、入院されている方の立場から考えていただいて、面会のしやすさという形で考えていただいたらいいかなというふうに思っております。また、9番の行事やレクリエーションに関しましては、長期入院されている方なんかで、クリスマスや正月とかいった行事なんかで何か楽しみがあったりとかするかどうかというようなことも考えて、ちょっと記載させていただいているような形でございます。

続きまして、サービスのほうに移らせていただきます。サービスも同じように、最も関心の高いものから3番目に関心の高いものということを選択していただく形で、1から10までの選択肢がございます。①は待ち時間に関すること、それを選んでいただくと(1)から(4)のものが出てくるというイメージを持っていただきまして、②は受付スタッフに関すること、これも選択していただくと(1)から(7)まで出てくるという形になります。③につきましては、プライバシーや個人情報への配慮、④は掲示物や案内板の分かりやすさ、端的に言いますと、どこどこの診療所がどこにありますよという案内看板なんかのイメージを持っていただいたらいいかと思います。⑤につきましては、壁面やギャラリーの展示物、サービスですので、病院、和やかにするといいますか、病院という堅苦しい感じというよりもちょっと何か心安らげるというか、柔らかにしていただけるようなもの、そういうイメージを持っ

ていただいたら結構かと思います。⑥に非常口や避難経路の分かりやすさ、⑦に面会しやすさ、これは入院されている方ではなくて、面会しに行った方の立場で考えていただけたらと思っております。⑧にホームページや情報公開、⑨に予防方法や受付の手順、⑩に支払いの方法という形の10個の選択肢を掲示させていただいている次第でございます。

続きまして、設備・環境についてでございます。これも関心の高いものを3つ選んでいただくということで、①から⑫までという形になります。これについては、それぞれ選んでいただく形になりますので、読み上げさせていただきますと、①としましては、院内の移動の安全性や利便性、②としまして待合室や談話室の利便性や快適性、③Wi-Fiの強度や使いやすさ、④トイレの清潔感、⑤院内の明るさや室温、⑥食堂・売店のサービス、⑦としましてプライバシーや個人情報への配慮、⑧としまして院内の清掃状況、⑨としましてノーマライゼーションの実現度、⑩としましてインテリアや壁の色、⑪としまして立地やアクセスのしやすさ、⑫として駐車台数と駐車場のしやすさという形で選択肢を設けさせていただいています。

続きまして、最後、その他でございます。その他に関しましては、市立病院に関するエピソードなんかを教えてくださいという形で考えさせていただいております。初め、病院の評価としまして点数をつけるかどうかということを考えたのですが、それであるよりも、市立病院にまつわる自分が経験したこと、もしくは行ったことない方でもうわさとかでもいいと思うので、そういったことを聞いてみたらどうかと。もちろん否定的なこともありますでしょうし、肯定的なこともあるでしょうし、これが一番皆さんの意見が聞けるんじゃないかという形で思っておりますので、こういう形の項目をつくらせていただきました。

また、2番目としまして、この後追いのことを考えさせていただきまして、例えば医療ミスとかいうのが1番であったと、これは後追いせなあかんとかいうことがあったりしましたら、その後、インタ

ビューに協力していただけますかということで、もちろんインタビューを遠慮するという選択肢も設けながら、協力できるよという方にはお名前とかお教えいただけたら、もちろん全員にインタビューとか実施するわけではございませんので、答えてもいいよという方にはご記入いただくというような形で設けさせていただいている次第でございます。

説明は以上でございます。

●中嶋委員長　ありがとうございます。

ちょっと長くなりましたが、一応事前に、大分苦慮しながらですが、できるだけ選択肢を絞り出しながら、それを——君はじめ事務局の皆さんがきれいに整理をしていただいたものでございます。

前回のときにも少しお話をさせていただきましたが、専門的なことであったり経営的なことは、市の第三者機関のほうで十分議論をするという前提がありますので、議会が評価をするということは、前回、中井委員からもおっしゃっていただいたように、市民の目線で市民が感じていること、不便だと思っていること、改善してほしいこと、そういったことを議会がどう把握をしていくのかということが大事なのかなという視点で、市民の方がどういうところに評価の軸を置いておられるのか、考えておられるのかということを抽出するアンケートになればいいなということが全体の方針です。

最後のところの話を少し補足しますと、先ほどあったように、満足度とか何点ですみたいなことを聞こうかという話が初めあったんですけども、どちらかというところ、80点だからよかったということよりは、じゃあなぜ20点足りないのかということのほうが大事なんじゃないかということもあったので、ちょっと実験的な意味合いもあるんですけども、市立病院にまつわるいいエピソード、悪いエピソードも、市民の方が実際に経験されたこと、感じておられること、見聞きしたことをぜひ述べていただける枠をつくろうということ。

2番目につきましては、先ほどすごいまれな例を言いましたが、基本的には今の時点で何か後追いをするということは想定はしておりません。ただ、ゼ

ロではないという意味で、仮にそういう回答があった場合は何かしらの対応が必要だろうという場合もありますので、その場合にはそういうことも想定していますが、どちらかというところ、アンケートの集計結果からもう少しこういうところへの深掘りが要るんじゃないかというふうなことが分析上出てきたときに、二次調査もしくは追加調査的にご協力いただける方の意向をあらかじめ把握をしておこうということでございますので、これがあるからといって、今回の結果に対してすぐさまそういうことをやるということは基本的には想定しておりませんので、その点をご留意いただけたらと思います。

ということで、ごめんなさい、ちょっと量が多いんですが、ざっと説明をさせていただきました。

今日は、あらかじめ言っておきますと、各会派持ち帰りをしていただきたいというふうに思っておりますので、次回の委員会までに各会派でもご意見を伺っていただきまして、選択肢を増やしていただく分には全然構いませんし、これはもう要らんのじゃないかとかいうご意見もあればぜひいただきたいなというふうに思っておりますので、その前提で、取りあえず今の説明の中でご質問とかご意見があれば今日はお伺いをしたいなと思いますので、よろしくをお願いします。いかがでしょうか。

どうぞ。遠慮せずに。

●中井委員　入院のところ、⑨行事やレクリエーション、急性期病院でこれはないんちゃう。

●議会事務局　ごめんなさい。あくまでマックスで上げているつもりですので、これはほんまに要らんというのは削っていただいたら全然構いません。何か市民目線というところで、ちょっとでも拾えるものは拾ったこうということで、可能性のあるものを、もちろん委員長、副委員長とも相談しながら案として上げさせていただいておりますので、先ほど委員長がおっしゃっていただいたように、要らんというのは削っていただくのは全然構わないと思っております。以上でございます。

●中嶋委員長　ありがとうございます。

●中井委員　それと、このアンケートを読ませてい

ただいて、これはやっぱり紙のアンケートも絶対必要やな。こんなんは実際に自分が経験してみんと、市立病院のスキームか何か、あっちのほうで病院の人に來てもうてこの間から話をしているんですけども、やはり自分が入院したことがある、だからここをこうしてほしいとか、例えば最後の会計、時間かかるけど、これもうちょっとどないかならんのかとか、そんなことが、いろんなことが分かるのが、やっぱり自分、入院とか通院の経験がないと、母親であつたりとか孫であつたりを病院連れていった経験はもちろんありますけども、そのときなんか、ほとんどこんなことは目につかない。自分が実際入院してみてほんまに、ここもうちょっとこないしたらええのになというのが気がつく、先生、もうちょっとこうしてくれはったらうれしいのにな、看護師さん、こうしてくれはったらうれしいなのというのが気がつくので、僕はやはりこういうことを聞くのであれば、もちろんL o G oフォームでいろんな方から、年代の方から意見聞くのも当然大事ですけども、やはり入院経験している人がもうちょっとこここうしてほしいというのが僕はほんまの病院の評価につながるんじゃないかなと思います。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

おっしゃっていただいたように、直接の改善点につなげていくという意味でいうと、中井委員が言われるとおりですので、その点も踏まえて先ほどの件は少し調整をさせていただきたいと思うんですけども、あわせて、もう一つ、これをやる上で思っていたのは、幼保のときもそうだったと思うんですけども、必ずしも子どもと保護者だけではなくて、幼稚園なんか、保育所もそうですけども、地域の皆さんであつたりとか、直接幼稚園の中身は知らなくても大事だと思っておられる方ってやっぱり市民の方にはたくさんいらっしゃるの、そういう意味で、少しターゲットのウイングは今回広げた形のアンケートにはなっております。ですので、直接的な改善という意味で、実際利用された方のご意見をしっかり取るということと併せて、市の施策として市立病院がどうあるべきなのか、どう評価していただい

ているのかということも、両方の視点で拾えるものになればいいなというふうに思っていますので、ちょっとその辺も含めて、ご意見としてしっかり承っておきたいと思います。

ほか、どうでしょう。

どうぞ。

●名手委員 このアンケートの例えば医師に関することとかあるところ、入院も外来も、その一番最後に、9つのところにその他があつて、自由記述というのがありますね。これは打ち込んでもらおうと、書いてもらおうという中身になりますよね。これは分かるんですけど、この後の感染症対策とか、5番目、プライバシー、個人情報の配慮とか、入院の食事とか、この辺については、これは選ぶだけですか。そこにも自由記述みたいなことが書けるのかどうかという、仕組みになっているのかというところですけど。

●議会事務局 現在のところですけども、これはあくまで評価をするためにどんな項目を選ぶかというアンケートでございますので、どういうとこに関心があるかということを集約するものでございます。ですので、おっしゃっていただいた感染症対策のどういったところという細かい部分につきましては、その次のステップになるかと思います。現段階ではどういったところに関心があるのかというものを拾うための、アンケート項目をつくるためのアンケートというような感じで考えておりますので、あくまで選択肢の部分であるという形で考えております。以上でございます。

●中嶋委員長 あんまり掘り下げる詳細が思いつかなかったということなので、あるのであれば、逆に出していただいたらいいと思っています。それだけの話かなと思います。

●名手委員 同じように、設備・環境のところは全部項目だけ、関心のある項目だけ選ぶというふうなじゃあ選択というふうになっているということだというふうに理解をしました。そういうふうな中身について、そしたら書きたいということがあれば、最後のエピソードというふうな、自分が思っていると

ころを書くということで反映したらいいというふうに……。

●中嶋委員長 恐らく詳細について書きたいと思われる方は何かしらの経験がおありの方なんだろうという、割合も高いと思いますので、どうしても書くところとか選ぶところがなければ、エピソードのところに書いていただけたらいいかなと思いますが、ただ、自由記述ばかりになると集計が大変ですので、できるだけまずは項目のところから選んでいただけたらなとは思っております。ただ、書けないということだとちょっとあれなので、自由記述も一定は入れさせていただいているという感じです。

●名手委員 そしたらその中身については、何かその他でお書きくださいというような誘導があってもええのかなと思ったりはするんですけど、そこはないんですね。

●中嶋委員長 別にその他を必ずしも書いてほしいという意図ではありませんので、あれば教えていただきたいということで、基本的には、今、抽出をしている項目の中から選んでいただくということがないと比較検討になりませんので、その点も含めてご理解をいただきたいということで、何を優先するかの問題かなというふうに思います。

どうぞ。

●大脇委員 これは、すみません、1人1回だけですか、アンケートは。

●中嶋委員長 性善説に立っておりますので、基本的には1人1回お答えいただくということですが、特に答えるに当たって何か個人を特定するわけではありませんので、答えていただこうと思えば、別に何回でも答えてはいただけたらと思いますけど、そういうことはないだろうという前提です。

●大脇委員 例えば私なんかだったら、自分の子どものときのこととか、自分の親のときのこととかって全然違うし、また、救急の外来に行くときのことというのは全く違うようになってくるからというようになってきたときに、アンケート答えるの難しいなというのをちょっと思ったので、それは……。

●中嶋委員長 アンケート自身が別に万能である必

要はありませんので、まず、趣旨に対して何を優先、プライオリティーを持っているかということを考えていただけたらありがたいなというのと、ただ、おっしゃるように、答え切れなかったなっていう思いを持たれる方も多分いらっしゃると思うんですね。ただ、この集計結果については、一定整理をした上で、当然公表させていただこうと思っておりますし、これだけで全てが決まるわけではありませんので、そういう意味で、何かこのアンケートを完全にしようということよりは、むしろこれが材料になって、今後の議論をしていく中で、どういう段階でどういう議論をすべきなのかということを考えるための材料ですので、そういうふうにご理解いただけたらありがたいなと思いつつ、できるだけお答えいただける方が答えられなかったと思わないようにはしたいなとは思っています。

どうぞ。

●中西委員 すみません。そもそも論というか、属性についてちょっと教えていただきたいんですけども、属性の4番と5番なんですけど、通院経験の有無、それと1日、2日か、3日から4日か、5日以上という、この分類をどのようにクロス集計に生かしていけるのか、ちょっと説明を聞きたいのと、同じく入院については、入院の有無と日数もそうなんですけれども、市立病院以外の方っていうことをあえて入れていらっしゃるもののいわゆる集計上の意図というののもちょっと念のため、よく分からなかったんで教えていただけたらと思います。

●議会事務局 まず、入院のほうからちょっとご説明させていただきます。

市立病院に入院されている方という形に限定すると、アンケートの答えの数が少ないかなということも踏まえまして、市立病院以外でもということで、入院したこと経験ある方の、何ですか、答えをたくさん集めたいという思いで、ちょっと市立病院以外もという形で入院はさせていただきました。

日数に関しましては、最近は短期間が多い形になると思うんですけども、短期間と中期間と長期間というような感じで、大体これぐらいで分けたという

形になっておりますので、もっと違う形があればというのは全然書いていただくことは可能かと思っております。

通院に関しましては、市立病院に実際通院しないと分からないことがということもあると思いますので、ここは市立病院、数としましては、通院の患者さんもかなり数はいらっしゃると思いますので、実際ちょっとしてみたのと、市立病院に行ったことあるかないという形で、どういったとこに関心に移るかというところを集計していきたいということとでちょっとあるので、こういう形で分けさせていただいているという形です。

日数に関しましては、たくさん通っているのか、1回か2回で感じたことなのか、それともずっと通ってこういうことを感じているかということで分けさせていただいているものでございます。以上でございます。

●中西委員 ありがとうございます。

私、ちょっと分からなかったんですけど、今回のこのアンケートに答えてくださった方がどういう方々なのかという程度であと進んでいくのか、それぞれ例えば通院で1日か2日、あるいは入院で30日以上の人の方がこうだったっていうところまでのクロス集計をするつもりでこれを入れておられるのか、その集計の意図がちょっとよく分からなかったのです。

●議会事務局 集計に関しましては、どういった答えが出てくるかにもよると思うんですけども、あくまで評価するために、どういったことを集計していたほうが、答えが必要かという形の部分になりますので、ここで意図が分からないということでありましたら、じゃあこういうことだったら、例えば日数とか、入院のほうは市立病院に限ったほうがいいんじゃないとか、そういったご意見があれば、次回、集約のときに書いていただいて、こういった集約を目的としますという形で書いていただく形でさせていただいたら結構でございます。以上でございます。

●中嶋委員長 特段、意図が複雑にあるわけではな

くて、いただいたご意見が入院、通院それぞれ経験のある方なのか、ない方のご意見なのかということとは当然集計、分析上必要だろうということと、入院したことがある、通院したことがあるということが短期なのか中期なのか長期なのか、どの程度のご経験なのかということを知っているだけで、別にそれ以上の意図はないです。

●中西委員 それで、今、ちょっと座長さんにもお答えいただいたんですけど、そうであるならば、例えば自己決定ができない人たちの家族、例えば子どもであったりとか、高齢であったりとか、障害がある方も中にはいるかもしれないですけども、私は一度も市立病院に通院も入院もしていないんですけども、家族の通院や入院には非常に関わってきたことがあるので、いろいろ思うところはあるんですね。特に5のところは市立病院以外も含むということで、一般的に医療に求めるものは何かということで多分この設問があると思うので、それは別にそういう意図ならそれで構わないんですけども、実経験がある方のお声も大事だし、非常に深く関わる家族の例もあるので、そういう声がどういうふうに反映されていくのかなっていう部分ももしかしたらあったほうがいいのかなというふうに感じたので、この集計をどういうふうに考えるのかってまずちょっとお聞きした次第なんです。

●中嶋委員長 なるほど。そしたら、あれですよ、自分の通院ではなく、自分の周辺の方との関係上の通院とか入院があるということですね。じゃあどういう文言をそこに入れたらいいか、提案してください、次のときに。言っている意図は分かりました。

●中西委員 一般的に言うと、ご本人もしくは家族がみたいな形で入れていくと収集できるのかなというふうに思いました。

●中嶋委員長 お待ちしております。

ほか、どうでしょうか。

どうぞ。

●山根委員 2点、ちょっと気になるところがありまして、細かいところでいいますと、面会のしやすさの入院患者側と面会に来る側の話というふうに今

ご説明を受けたので、こちらは入院側か、こちらは家族側かって分かるんですけど、上から順番にやっていて、入院のところに、括弧、入院したことがない方も答えてくださいってということで、一番最初、私がぱっと見たら、やはり面会のしやすさといったら家族側のふうに思ってしまうので、細かいですけども、括弧、入院側とか、その下の部分は面会に来られる側とか、何かそういう、ちょっと適切な文言が分かりませんけれども、括弧書きをしていただくと、私は家族側で答えようと思っていたらここじゃないんだなというのが分かるのと、あともう一つは、このアンケートは、市議会の評価委員会として、主にソフト面だと思うんですけども、ハード面でお手洗いがどうのこうの、Wi-Fiがどうのこうのっていうのはどんどん提言していけると思うんですけども、最後のその他の11番の立地やアクセスのしやすさですとか、12番の駐車台数と駐車場のしやすさというのは、この議会として、例えば議会で決定したことだったり、移転建て替えの立地であったり、バスの路線網であったりというところから、議会が何かできるのかどうなのかっていうのがちょっと疑問に感じますので、この質問はどのように扱うのか、ちょっと私は分からないのでお願いします。

●中嶋委員長 まず、前提としては、今回のアンケートをずっと続けていくかということ、恐らくそうではないと思ってまして、今回はあくまで評価スキームをつくるための意見回収といいますか、市民の方の意見をいただくということです。実際に評価スキームができた段階で取るアンケートと必ずしも全てがイコールではないかなと思っています。なので、確かに言われるように、立地やアクセスみたいな変えようのないことを聞き続けるということは、確かに継続性のある項目としては必要ないのかもしれないなというのは、今後の議論としてまたしていただけたらなと思いますけど、現状だけを言えば、旧病院から新病院に立地、アクセスも含めて変わるタイミングですので、そのタイミングにおいては、市民の皆さんがそのことを重視しているのかどうかを判断する一つの指標にはなるかなというふう

に思いますので、そういう意味でちょっと入れさせていただいたというのが補足かなと思いますが、それで合っていますか。そんな感じですが。

●山根委員 ありがとうございます。

主に立地というよりもアクセスのしやすさっていうところが気になるのかなというふうに思いますし、駐車台数と駐車場のしやすさっていうのもちょっと変更の余地があるのかなという認識でよろしいでしょうかね。分かりました。以上です。

●中嶋委員長 どうぞ。

●中井委員 今頃何聞いてんねんって怒られるかもしれないけど、このアンケートを市民の皆さんにどのように周知するんですか。議会でこういうアンケートを取っていますよ、例えば今度の議会だよりの中でこのQRコードをつけておいて、こういうふうなことをしていますよ、こういうふうな目的でしていますよということを載せるのか、箕面市の「もみじだより」か、あれで載せるのか、例えば病院のところにポスター作って貼っておくのか。何かをせんとやっていることが分かん。何のためにしているんか分かん。今おっしゃったみたいに、これから病院の評価をしていくための項目づくりですねんというところが分からない。だからそれをどのように市民の皆さんに周知して、協力してくださいねとするのが一番大切なところかなと。我々が口コミで周りうたって、私、友達も少ないですから、ええとこ家族におまえらどんな思うぐらいのことですわ。せやからそこのところが僕は一番大事なのかな。一番そやから僕が思うのは、やっぱり病院のところにでもポスターなりなんなり作って貼っついて、それでQRコードをつけといて、そこから飛んでくださいね、やったら結構皆さん、こんなことしているんやというのが分かってくれてええのかなと思うので、アンケートをどのようにするかも大事やけども、どのように皆さんに知ってもらってアンケートに参加してもらおうかっていうことのほうが僕は大事なように思うんですけども、そこのところはどのようにお考えですやろか。

●中嶋委員長 何かありますか。

●議会事務局 ご意見ありがとうございます。

周知の方法につきましては、これもちょうと諮っていただく必要があるかなと思っております。ホームページはもちろんなんですが、くらしナビに出させていただくというのは当然ですけども、そうするとやはりスマートフォンやパソコンで見ている人に限るという形になってしまいますので、このアンケートの周知の方法につきましては、今、中井委員さんおっしゃっていただきましたポスターを作るのか、市立病院に貼ってもらうのかというのはちょっと皆さんにご決定いただきまして、ただ、もちろん、すみません、ちょっとこちらの会議録に残せるかどうかというのはありますが、予算のほうもいろいろありますので、そっちの問題も含めまして、ご意見いただきまして、なるべく沿った形の方法にさせていただきたいというふうに考えております。以上でございます。

●中井委員 くらしナビも、何かああいうことに一遍アクセスしたことある人なら見ると思いますけども、なかなか皆見ないと思うんです。やはりせっかく議会だよりというのを出すんやから、議会だよりの中で、1ページやったら1ページ使って、こういう趣旨で、こういうことをしますというのは出しやすいと僕は思うんです。

●議会事務局 すみません。議会だよりなんです、ちょっといつの段階でこのアンケートを出すかというタイミングによる形になります。ですので、議会だよりに掲載しますとはちょっとはつきり今の段階では申し上げれません。といいますのが、第2回定例会終わりますと、議会だより発行するまでの間、その間はちょっとアンケートは実施できないという形になりますので、タイミングをそこで逸してしまうという形になってしまうと、議会だよりという形では、手法としてはちょっとできないという形になりますし、逆に議会だよりの発行を待ってからアンケートをするんだというような形になれば、議会だよりを使えるという形になるかと思っておりますので、ちょっとそれはタイミングによりけりという形で、すみません、今のところそれぐらいしかお答えができない

という状況でございます。

●中嶋委員長 まず、今の中井委員のご意見に対してお答えするとしたら、できる限りのことをしていくというのがお答えかなというふうに思っています。言っていたように、こういうことをやっているんだよと、何のためのアンケートなんだよと、皆さんにご協力いただくことで病院がよくなっていくんだよということをしっかりと発信をしていかないといけないというのはまさにそのとおりだなというふうに思っております。

そういう意味で、アンケートの手法、先ほどの設置場所も含めて、そこも可能な限り検討をしながら進めていく、発信をしていくということはさせていただきたいなと思っているんですけども、先ほどちょっと議会だよりのお話が出たんですが、今日は、すみません、アンケートの実施時期をちょっと言いそびれというか、含めそびれているんですけども、アンケートにつきましては、任期内に実施をしたいというふうに思っております。それでいきますと、大変申し訳ないんですが、議会だよりにつきましては、ちょっと発行タイミングが合わないかなというふうに思っておりますので、その点も含めて、どういうふうに発信をしていくのかということは、さらに検討したいなというふうに思っております。

できる限りできることはやっていきたいというふうに思っておりますので、その点も踏まえてご意見をいただけたらと思います。

●中井委員 我々、評価委員会、これは、恐らくは、指定管理者が決まって新しい形になっていきましたよというところで評価していくんだから、別に今年、来年のうちにこれをきっちりしたもんをつくってじゃなしに、逆に長い目で見て、ええもんつくついたらよなっていうほうが僕はええん違うかな、変にばたばたしてしまって、ああっていうよりも、逆にそっちのほうがええような気がするんですけど。

●中嶋委員長 その意見は以前もいただいていたところではあるんですけども、以前もいただいたご意見を踏まえて、評価スキームを決める、つくっていく期

間というのはやっぱり一定期間かけていかないといけないというふうに思っています。かつ初めの説明にあったように、幾つかの段階を経ながら議論を深めていきたいなというふうに思っています。そういう意味で、いろいろ皆さんから真摯にご意見をいただいて、大変ありがたくもあるんですけども、このアンケートだけが全てを決めるわけではないという前提をまずもう一度踏まえていただけたらというふうに思っております。ただ、いきなり評価委員会の中で何の材料もなしに評価がどうかみたいなことを議論し始めてもなかなか進みませんので、そういう意味では議論を進めていくためのまずは材料をしっかりといいただいていくということがアンケートの大きな1つ目の趣旨になりますので、そういう意味で、確かにこのアンケートの内容とか、実施の方法とか、完璧では確かにないかもしれませんが、いろいろご意見をいただく部分はあるかもしれませんが、一旦今期の評価委員会としては、このアンケートを集計した結果を次回改選後の議会への引継ぎ事項として引き継いでいきたいなというのが目標になっておりますので、その点を踏まえた上で、できる限りやっていきたいなというふうに思っていますので、その点はちょっと改めてご理解をいただけたらありがたいなと思っております。

どうぞ。

●田中委員 今、議会だよりの話が出ましたので、一応、私、広報委員長も仰せつかっておりますので。

この質問項目自体を議会だよりに載せるというのはちょっとタイミング的にも、第1回定例会の議会だよりが5月15日にはもう発行されますし、第2回定例会の議会だよりは8月15日発行になりますので、ちょっとタイミング的に、今の任期内に実施ということであれば、項目自体を掲載するのはちょっと難しいかなとは思っています。ただ、実際にこの評価委員会も開催しているわけですし、開催して、どういうことを取り組んでいるということを掲載するということは可能だとは思っていますので、ここは、今、私が一存でやるやらないとは言えませんが、議会だよりの広報委員会の皆さんと紙面を決めるときに、こ

ういう案が評価委員会の中からあったということで共通認識して、また決めていきたいと思っておりますので、お願いいたします。

質問項目なんですけど、今、皆さんの質問聞いていたら、なるほどな、そうあったほうがいいよなって一定分かるんですけど、ただ、質問が複雑過ぎて、答えるのが嫌になるのも、それも駄目かなと思ったりもするんですが、このL o G o フォームの質問の形態というか、幾らでも足せるんですか。それとも限界が何かあるとか。

●中嶋委員長 質問数はやろうと思えば幾らでもできる。ただ、増えれば増えるほど回答率は落ちると思いますので、今の想定は大体2分以内で答え終われるということを想定していますので、本当のところを言うと、あんまりこれ以上設問自体を増やすのはよろしくないかなとは思っています。ただ、中身の詳細がより豊富化されるのは、答える側にとってはいいことだというふうに思うので、そういう意味で、設問数も含めて、各会派から最終ご意見をいただけたらなとは思っております。

●田中委員 じゃあ、次回、集約なので、そういうことがもともと基本的にはあるということを踏まえて質問項目とかを各会派で考えてきたらいいということですね。

●中嶋委員長 皆さんが合意できるものであれば、基本的に項目を増やすこと自体は何も阻害するもの、基本的には答える時間以外はありませんので、ぜひ豊富化していただけたほうがいいんじゃないかなとは思っています。

●田中委員 分かりました。

●山根委員 すみません。すごくだらない質問かもしれませんが、設問が幾つかあって、スキップはできますか。この3番の入院とかは飛ばしたいというのは可能ですか。

●中嶋委員長 設定上はできます。必須項目にすることも必須でない項目にすることも可能です。

●議会事務局 何かを必須にするということであれば、今、委員長がおっしゃっていただいたように、スキップはできない形になりますけども、その必須

か必須でないかというのが作る側として選べますので、全て必須にすれば全て答えてもらわないといけませんし、全て必須じゃなければ、もう歯抜けで出てくるという、答えができるという形にもなります。

●中嶋委員長　ちなみに、今のところはその他は任意ですが、それ以外のものは一応お答えしていただくということを前提にはしています。ただ、これはもう別にスキップできるようにしたらみたいなご意見があれば検討はできますので、その辺ももしご意見があればいただけたらと思います。

ほか。

どうぞ。

●中西委員　すみません。もし分かるんだったら教えていただきたいんですけど、さっき1人の人が何回答してもっていうところがあったかと思うんですけども、1アカウント1回答で2回目はできないとか、そういう設定はできないんですか。

●中嶋委員長　基本的にはそういう設定はできないと思います。その場合は、あらかじめ答えるときにアカウントでログインをしていただくということが設定上は必要になると思います。ただし、あんまりそういうことをするつもりはないし、想定していないんですが、後ほど、終わってからですね、集計してから、同じパソコンのIPアドレスから同じ回答が来ている場合は、その確認は恐らくすることがシステム上はできるはずです。なので、先ほど言われたように、1人の人が大量に回答をしてくるというふうなことが疑われる場合は、そういう確認はもしかしたらするかもしれないと。合っていたっけ。そこまではできない。

●議会事務局　同じIPアドレスははじきますので、同じ方がパソコンから一度回答して、その後にスマートフォンで回答とかっていうことは可能なんですけれども、一応同じパソコンで一度入力した回答…。

●中嶋委員長　そうじゃなくて、初めの段階ではじけるということやね。

●議会事務局　はい。

●中嶋委員長　同じパソコンから複数回回答するこ

とはできないから、違う端末を持っている限りは答えは一応できると。そういうことみたいです。

●中西委員　了解です。

あと、さっき予算の話されていたんですけど、これどれぐらいの予算。

●議会事務局　予算はございません。流用で対応します。

●中嶋委員長　郵送用の予算が恐らく数万円程度必要になります。そこはちょっと今、事務局と相談させていただいて、今の事務局予算の範囲内で使えるものがあるかないかということの精査をしていただいておりますので、若干流用も含めて皆さんにご理解をいただくところが出てこようかと思いますので、そういう、今、準備をしております。

●中西委員　ちょっと簡単なことなんですけれども、入院に関する部分なんですけど、例えばカンファレンスに関しては、これ、例えば医師、看護師、その他スタッフというふうに区切っているんで、カンファレンスはカンファレンスで要るんやったら項目をつけなさいという、そういう意味だと思ったらいいいんですか。

●中嶋委員長　ごめんなさい。どこですか。

●中西委員　入院の診療・看護という項目があるんですけども、カンファレンスも多分大切な部分であるかなと思うんですけども、カンファレンスの開催の仕方とか、その辺の項目とかは……。

●中嶋委員長　入れたほうがいい項目があれば、どこに入れるかも含めてご提案いただいたら。

●中西委員　それで、外来のところは5つの中で上位3つを選んでくださいということなので分からないでもないんですけども、入院であるとか、あとサービスであるとか、あと設備・環境の項目で、この項目がどんどん増えれば増えるほど、今でも10とか12とかあるんですけども、その中で上位3つを選ぶというのは何かどういう意図があるのか、ちょっと教えていただいてもよろしいですか。

●中嶋委員長　別段意図はございません。

●中西委員　なかなかこの3つというのが項目見てもしんどいなっていうふうに思うので。5つの

中の3つというのは分かるんですけどね。

●中嶋委員長 人それぞれ3つが大変だという人もいれば、5つになっても大変だという方もいらっしゃると思うので、非常に難しい葛藤を感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、その中で何とか3つ選んでいただくというのがどのアンケートにおいても同じことだと思いますので……。

●中西委員 これはアンケートのためのアンケートですよ。だからこれで上位3つ選んで、その上位3つに対して、今度、スキームも含めてつくっていく手順なのかなというふうに理解をしているんですけども、そのときに大事な項目が脱落していくとどうなんだろうなというちょっと危惧が、最終的にこれをどう落とし込んでいくのか……。

●中嶋委員長 別段3つ選んでいただいたからといって、それ以外は評価しないというわけではまずありませんので。

●中西委員 そうですね。だからその辺の……。

●中嶋委員長 何を重視しているかということ把握したいということです。当然ここに上げているのは一応抽出段階で、病院の評価として一定必要なものだろうという前提で上げていますので、この中で落ちたからやらへんとか、必要あるないみたいなことを別に前提にしているわけではないです。ただ、全体のスキームの中で、じゃあこれらを全部一から十まで評価できるかということ、そんなことはないと思いますし、やり方も含めていろいろ考えていかなければいけないと思うので、そういう意味で、まずは市民の方が何に評価として重きを置いておられるのかということは把握をさせていただいた上で、じゃあ評価のスキームとしてはどういうところに優先順位をつけて形を決めていくのかという議論をしていくという流れになりますので、別にここで入った入っていないだみたいなことを重視しているわけではないというふうにご理解いただけたらありがたいなと思います。

●中西委員 悩ましいね。

●中嶋委員長 悩ましいということは一定理解はしております。その中で選んでいただけたらと思いま

す。

どうぞ。

●名手委員 あと、一番最初に、そもそもになりますけど、前文に一応説明の文章が入りますよね。

●中嶋委員長 はい。

●名手委員 それが今言うていた、多分、何のためにやるのかということの規定する中には、それをちょっと簡単にやっぱりできたら文書にしたやつを確認をしたほうがええん違うかなと思ってまして、今のところたたき台は項目だけですので、こんな趣旨でアンケートを取りますという中身をまた示していただけたらと思います。委員長が幾つか議事録で拾ったらありますけども。

●中嶋委員長 それは次回までに皆さんに案をお配りさせていただきますので、その案を事前に確認いただいた上で、次回、集約をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

どうでしょうか。内容につきまして、よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●中嶋委員長 それでは、大変いろいろご指摘、ご質問いただきましてありがとうございます。今日は、初めに申しましたように、各会派持ち帰り検討ということにさせていただきますので、追加の分も併せまして、できるだけ事前にまた資料のほうを投げさせていただきますので、各会派でのご意見の取りまとめをよろしくお願いいたしますと思います。

それでは、協議事項の1つ目、策定用のアンケートにつきましては以上とさせていただきます。

協議事項2 今後のスケジュール

●中嶋委員長 続きまして、今後のスケジュール、協議事項の2番目でございますが、別紙のほうは前回のときの資料をつけさせていただいております。前回ご確認いただいたのは、何回も申し上げています。恐縮ですが、先ほどのアンケートをまずはやるということまでを各会派の合意事項としてご確認をいただきましたので、今はそれに向けて作業をさせていただいております。先ほど言いましたように、

任期内にアンケートの実施はさせていただきたいなという予定をしております。

それ以降につきましては、前回は僕のイメージとして提案をさせていただいただけですので、いろいろ意見があろうかとは思いますが、その部分はもう改選後に引き継がせていただきますので、改選後、新たなメンバーで委員会が再開された後に具体的な進め方、詳細につきましては、改めてご議論をいただけたらなというふうに思っておりますので、今任期の評価委員会といたしましては、先ほどから申し上げておりますように、今日お諮りをしたアンケートを実施するということまでを任務とさせていただく前提で、今、進めさせていただきますので、その確認をしていただくというのが協議事項2つ目になります。

ちょっと最後のスケジュールの話にももう入っちゃうんですが、一応次回の開催が5月の30日の木曜日、本会議の初日、6月定例会の本会議の初日になるんですけども、例年どおりでいきますと、午前中で恐らく本会議のほうが終了になりますので、終了後の午後の時間に委員会を開催させていただきたいなと思っております。その場で手法、それからアンケートの内容につきまして、最終集約をさせていただきたいなと思っております。

その30日の評価委員会が一応任期内としては最終の開催とさせていただきたいなと思っております。アンケートのほうは、恐らく任期中には集約されると思うんですけども、何かしらの会議でお諮りをする場面がもしかしたら持てないかもしれませんので、委員各位には、結果の速報版につきましては、でき次第、共有をさせていただきたいというふうに思っておりますが、正式な会議でご報告、共有等がされるのは改選後ということでご理解をいただけたらありがたいなと思っております。

ということで、ざくっと次の予定も含めまして、今、今後の進め方をご説明させていただきましたが、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●中嶋委員長 それでは、ありがとうございます。
2番の今後のスケジュールにつきましては、以上にさせていただきたいと思います。

協議事項3 その他

●中嶋委員長 それから、3つ目のその他につきまして、次回の開催につきましては、今申し上げたとおり、5月の30日、本会議終了後とさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

その他につきましては、ほか、特にございませんが、委員の皆さんからは特にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●中嶋委員長 ありがとうございます。

それでは、その他につきましても以上とさせていただきます。

以上で本日の委員会の議題のほうは全て終了となりましたので、これをもちまして市立病院評価委員会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

午後2時21分 閉会